

(様式1)

日本医療研究開発機構 先進的バイオ創薬等基盤技術開発事業
研究開発提案書

研究開発課題名 (英語表記)	〇〇に関する研究開発 Study of 〇〇		
公募研究開発課題名	公募要領記載の公募研究開発課題名から1つを選択し、記載してください。		
研究開発期間	2019年9月1日 ~ 2024年3月31日 (5年間)		
分野			
分科			
細目			
細目表 キーワード	〇△□、〇□△ (※e-Radの研究分野(主)の「キーワード」を記入)		
細目表以外の キーワード			
研究開発代表者	(フリガナ)	〇〇〇〇 〇〇〇	
	(漢字等)	〇△ 〇□ Ms. Zzzz Zzzzz	
所属研究機関	〇〇〇〇大学		
住所	〒 XXX-XXXX		
電話番号	XX-XXXX-XXXX	F A X	XX-XXXX-XXXX
E-mail	YYY@YY.jp		
部局	△△△学部△△△学科		
職名	△△△		
経理事務 担当者氏名	〇△ 〇△	経理担当部局 名・連絡先等	△□大学管理部〇〇課 電話番号: FAX番号: E-mail アドレス:
研究開発分担者 氏名※	(フリガナ)	〇〇〇〇 〇〇〇	
	(漢字等)	〇△ 〇□ Ms. Zzzzz Zzzzzz	
所属研究機関	〇〇〇〇大学		
住所	〒 XXX-XXXX		
電話番号	XX-XXXX-XXXX	F A X	XX-XXXX-XXXX
E-mail	YYY@YY.jp		
部局	△△△学部△△△学科		
職名	△△△		
経理事務 担当者氏名	〇△ 〇△	経理担当部局 名・連絡先等	△□大学管理部〇〇課 電話番号: FAX番号: E-mail アドレス:

※ 研究開発分担者は人数に応じて適宜記入欄を追加してください。

各年度別経費内訳

総計（全参画機関の委託研究開発経費の合算額を記載）

（単位：千円）

大項目	中項目	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	計
直接経費	1. 物品費	設備備品費					
		消耗品費					
	2. 旅費	旅費					
		3. 人件費・謝金	人件費				
	謝金						
	4. その他	外注費					
その他							
小計							
間接経費 （上記経費の30%目安）							
合計							

※ 公募課題番号 2-1 および公募課題番号 2-2 に応募される方は、5年度（2019年度～2023年度）以内に、公募課題番号 2-3 に応募される方は、3年度（2019年度～2021年度）以内に成果が得られることを想定して、研究計画を策定して下さい。

研究組織（研究開発代表者、研究開発分担者、導出マネジメント責任者（※））

	氏名（年齢） 研究者番号	所属研究機関 部局 職名	現在の専門 学位（最終学歴） 役割分担	2019年度 研究経費※ （千円）	エフオ ート （%）
研究開発代表者	○△○□ (XX) 12345678	○○○大学	△△△	X,XXX	XX
		△△△学部△△△学科	△△博士 (○○学)		
		△△△	△△△		
研究開発分担者	□□○○ (XX) 98765432	△□大学	□○○	X,XXX	XX
		△△△学部△△△学科	○○博士 (□△学)		
		□□□	□□□□□		
導出マネジメント責任者（#）	□△○△ (XX) 24681012	△△大学	□△□	X,XXX	XX
		△○○学部△○○学科	□○博士 (□○学)		
		○○○	○○○○		
計	3名		研究開発経費合計	X,XXX	

※ 研究経費については、直接経費を記載してください。

公募課題番号 2-1 に応募される場合は、導出マネジメント責任者の指名・配置が必須です。

(2) 基本構想

- ・評価者が理解しやすいように、必要に応じて図や表を用いて記載して下さい。
- ・3 ページ以内で記載して下さい。

① 研究開発の背景

当該研究に関する国内・国外の研究開発動向及び位置づけ、応募者のこれまでの研究成果(*)を踏まえ着想に至った経緯について、本研究開発の新規性・進歩性・優位性等が明らかになるよう記載ください。

(*)：公募課題番号 2-3 「次世代技術に関する萌芽的研究開発課題」については、必ずしも研究成果の提示は求めません。

② 研究開発の目標・ねらい・準備状況

研究開発目標（研究開発期間終了時に達成しようとする、研究開発成果の目標）、研究開発のねらい（上記研究開発成果によって得られるアウトカム及びその臨床的意義）、研究開発の準備状況（これまでに進めている部分の概略）を具体的に記載して下さい。

研究開発目標については、当該研究課題が達成された場合に想定される、医療上のメリットについて、現治療薬、治療方、治療体系等に対して具体的にどのような改善が期待されるかについても合わせてご記載下さい。

③ 研究開発の成果に関する競合状況とその競合に対する強み・弱み

研究開発の達成目標に対する、競合状況（研究報告・情報、特許情報等）、競合に対する優位性・劣位性等を具体的に添付資料（別紙 3：競合比較表）に記載ください。

④ 導出・実用化に向けた知的財産戦略

研究開発の目標達成に向けた、知的財産戦略の計画について記載下さい。現在取得済みの公開特許やノウハウに加えて、今後取得を目指す知的財産の内容や方向性・領域等についても、合わせて記載下さい。

なお、具体的な公開特許情報のリスト等については、「3. 研究業績」にご記載下さい。

注) 公募課題番号 2-3 次世代技術に関する萌芽的研究開発課題は、当該項目の記載は不要です。

4 研究費の応募・受入等の状況・エフォート

本応募課題の研究代表者の応募時点における、(1) 応募中の研究費、(2) 受入予定の研究費、(3) その他の活動について、次の点に留意し記入してください。なお、複数の研究費を記入する場合は、線を引いて区別して記入してください。具体的な記載方法等については、研究計画調書作成・記入要領を確認してください。

- ① 「エフォート」欄には、年間の全仕事を100%とした場合、そのうち当該研究の実施等に必要となる時間の配分率(%)を記入してください。
- ② 「応募中の研究費」欄の先頭には、本応募研究課題を記入してください。

※必要に応じて行を挿入して構いませんが、1頁以内で記入してください。

(1) 応募中の研究費

資金制度・研究費名(研究期間・配分機関等名)	研究課題名(研究代表者氏名)	役割(代表・分担の別)	2019年度の 研究経費 [期間全体の額] (千円)	エフ オー ト (%)	研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由
【本応募研究課題】 (2019~2024)	〇〇と△△の関連に関する実験的研究 (〇〇〇〇)	代表	6,000 [18,000]	30	研究開発期間全体(直接経費)の総額例(6,000+1,000(分担者)x3年) (総額 21,000 千円) *
科学研究費補助金・挑戦的萌芽研究 (2019~2021・日本学術振興会)	依存性に関する調査研究(〇〇〇〇)	代表	3,000 [9,000]	20	研究とは××の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。 (総額 9,000 千円) *
平成31年度〇〇財団研究助成金(2019・〇〇財団)	××と□□の研究(〇〇〇〇)	分担	1,000 [1,000]	10	本研究とは××の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため

(2) 受入(予定)の研究費

既に採択済みで研究費を受け入れている又は受け入れる予定になっているもの。適宜読み替え可能。

資金制度・研究費名(研究期間・配分機関等名)	研究課題名(研究代表者氏名)	役割(代表・分担の別)	2019年度の 研究経費 [期間全体の額] (千円)	エフ オー ト (%)	研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由
2018年度〇〇財団研究助成金(2019・〇〇財団)	××と□□の研究(〇〇〇〇)	代表	1,000 [1,000]	10	本研究とは××の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。 (総額 5,000 千円)
〇〇事業(2019~2022・AMED)	××と□□の研究(〇〇〇〇)	分担	1,000 [5,000]	10	本研究とは××の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。

* () 内には、研究開発期間全体の直接経費の総額を記入してください。

(3) その他の活動 エフォート: 20 %

5 これまでに受けた研究費とその成果等

- ① 本欄には、研究開発代表者及び研究開発分担者がこれまでに受けた研究費（所属研究機関より措置された研究費、府省・地方公共団体・研究助成法人・民間企業等からの研究費等。なお、現在受けている研究費も含む。）による研究成果等のうち、本研究の立案に生かされているものを選定し、当該資金制度とそれ以外の研究費に分けて、次の点に留意し記述してください。
- ・ それぞれの研究費毎に、資金制度名、期間（年度）、研究課題名、研究代表者又は研究分担者の別、研究経費（直接経費）を記入の上、研究成果及び中間・事後評価（当該研究費の配分機関が行うものに限る。）結果を簡潔に記述してください
 - ・ 当該資金制度とそれ以外の研究費は区別して記述してください。

（例）

資金制度名：

期間（年度）： 年度～ 年度

研究開発課題名：

研究開発代表者又は研究開発分担者の別：

研究開発経費（直接経費）： 千円

研究成果及び中間・事後評価結果：

【当該資金制度】

（1）基盤研究（A）、H21～H23、「〇〇に関する研究」、代表者、40,000千円
××××の成果を得た。

（2）基盤研究（B）、H21～H23、「〇〇に関する研究」、代表者、40,000千円
××××の成果を得た。

【それ以外の研究費】

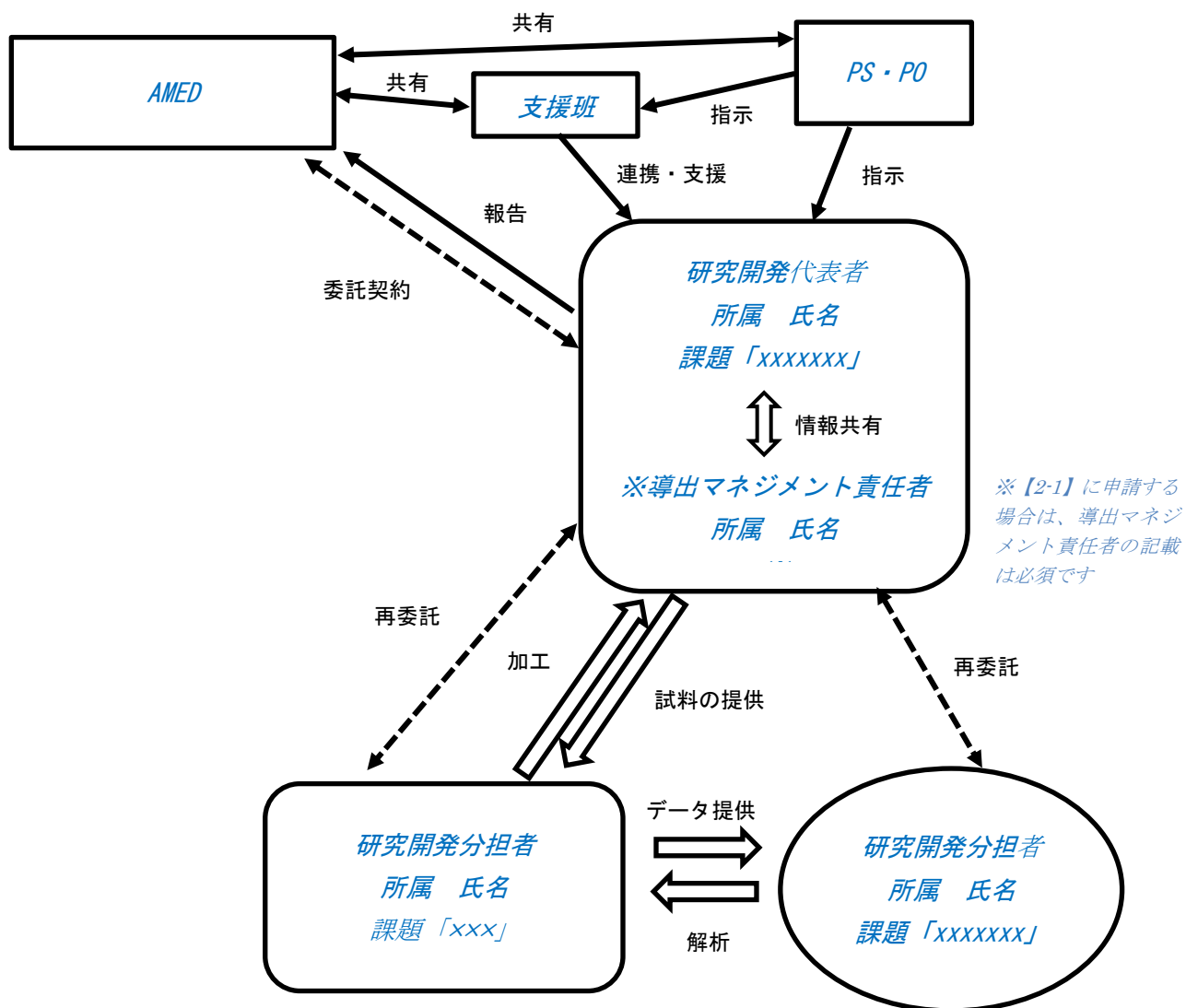
（3）基盤研究（B）、H21～H23、「〇〇に関する研究」、代表者、40,000千円
××××の成果を得た。

実施体制図

代表機関、分担機関の組織、体制、連携、協力体制等について体制図を記載してください。各機関の役割が分かるように記載してください。また、研究開発課題の運営・推進及び進捗管理等の体制や方法について記載してください。

【体制図記載例】

角丸四角形：大学等、楕円：企業、長方形：AMED、PS・PO、支援班、点線矢印：契約の流れ、太い矢印：試料、データ・情報等のやりとり 実線矢印：指示、支援、報告、情報共有



- 1.
- *2.
- 3.
- 4.
- 5.
- 6.
- 7.
- 8.
- 9.
- 10.

